

MitsuiSougou通信

空き巣や強盗から命と財産を守る「住まいの防犯対

ニュースなどでも報じられているとおり、近頃、手口が巧妙かつ凶悪化した侵入犯罪が相次いで発生しています。店舗だけでなく一般住宅も被害に遭っており、金品のみならず、ときには人命が奪われる事態にまで発展しています。犯罪の手口が凶悪化の傾向にあることから、防犯意識を高め、住まいの防犯対策を更に強化していくことが求められています。侵入犯罪の手口を理解し、警察が勧める効果的な防犯対策を知り、自分や家族の命と財産を守りましょう。

「知っておこう。侵入犯罪の手口」

侵入窃盗は無施錠の窓や玄関からの侵入がトップ！

空き巣を始めとした侵入窃盗の多くは、鍵の掛かっていない箇所から侵入しています。どんなに堅固な建物部品を設置しても、鍵を掛けなくては全く意味がありません。「少しの間だから大丈夫」と玄関などの鍵を掛けないままゴミ出しに行ったり、洗濯物を干したりすることがないよう、日頃から少しの外出などの場合でも必ず施錠をする習慣を身に付けましょう

次に多いのが「ガラス破り」による被害です。家を不在にする際には雨戸などを閉める、窓に補助錠を取り付ける、窓ガラスの全面に防犯フィルムを貼るといった対策も有効です。



「効果的な住まいの防犯対策と防犯行動」

●自主防犯行動

＜在宅・帰宅時の行動＞

- 1.在宅時でも、出入口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける習慣をつけること。
- 2.訪問者に対しては、不用意にドアを開ける前に、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認すること。
※宅配業者の訪問を偽装した手口には、荷物の受取りに宅配ボックスを活用するなど、宅配の荷物を直接受け取らない方法をとることが大切です。
- 3.外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか、よく確認すること。

＜住宅の防犯対策＞

- 4.日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整えておくこと。
- 5.玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させること。
建物部品を選ぶときは、防犯性能の高いものを選ぶこと。
- 6.設置した防犯設備機器を有効に役立てること。
- 7.旅行など長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合ったり、郵便物・新聞などの配達を止めるなどの対応も必要。



＜日常での心構え＞

- 8.合鍵の不正作製を防止するため、鍵を家族以外の人には「見せない」「渡さない」写真や動画で「写さない」。
- 9.自宅に必要な以上の現金を置かないこと。電話などで在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれても答えないこと。
- 10.不審を感じた場合には、ためらうことなく110番通報すること。



「侵入犯罪は個人の不注意を無くして地域力で防止」

空き巣や強盗などの侵入者は、目星をつけた地域や家の下見を行うことが多いといわれています。住人の在宅時間のほか、侵入のしやすさ、逃げやすさなどを事前にチェックし、犯行に及んでいるのです。

侵入者は「近所付き合いが良く、連帯感のある住宅街」を嫌うといわれており、下見の際にチェックする項目には、人通りの少なさや、地域住民が挨拶などを交わっているかなどの「地域環境」も含まれています。また、ゴミの指定日や指定時間以外にゴミが出ている地域は、住民の地域への関心が低いと思われるのか、侵入者にとっては安心感を与えるといった傾向もあります。

日頃から、ゴミの収集日など地域のルールを守り、近所付き合いを大切にすることが、犯罪に強いまちづくりにつながります。

(出典：政府広報オンライン)

安全運転アドバイス

近年は、これまで経験したことのないような大雨や強風などの異常気象に見舞われることが少なくありません。そのため水没事故や横転事故も発生しています。そこで今回は、異常気象時における対処の仕方をまとめてみました。

《記録的短時間大雨情報が発表された時》

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測される際には、記録的短時間大雨情報が発表されます。この情報が発表された地域では、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味していますので、車の運転は避けましょう。

また、気象庁のホームページに掲載されている「雨の強さと降り方」によれば、1時間の雨量が50ミリ以上の場合、運転は危険とされていますので、このような時も運転は避けましょう。

《ゲリラ豪雨に遭遇した時》

天候が急変し、突然豪雨に見舞われることがあります。一般に「ゲリラ豪雨」と呼ばれていますが、ゲリラ豪雨は予測が難しいといわれています。万一走行中にゲリラ豪雨に遭遇した時は、次のような措置をとりましょう。

- ・速度を落としワイパーを最速にしましょう。
- ・先行車がある時は車間距離を十分にとりましょう。路面に雨水があふれているような状態の時は、先行車の水はねも激しいものとなり、前方の視界を遮られることがありますので、先行車の水はねがつかからないだけの車間距離をとるようにしましょう。
- ・ワイパーを最速にしても雨滴が拭えない場合は、運転を続けるのは危険ですので、安全な場所にいったん待避して豪雨が収まるのを待ちましょう。
- ・アンダーパス（路面を掘り下げて交差道路の下をくぐる形状の道路）やすり鉢状の道路は冠水するおそれがありますので、冠水している時はもちろんのこと、冠水しているかどうかよくわからない時も通行することは避け、迂回しましょう。豪雨時のアンダーパスは、たちまちのうちに冠水してしまいますので、まだ大丈夫だろうと油断するのは禁物です。
- ・河川の近くを走行すると、河川の氾濫に巻き込まれる危険がありますので、このような場所を走行しているときは、速やかに高台など安全な場所に避難しましょう。



《走行中に強風に見舞われた時》

強風時は、ハンドルをとられ車が流されることがあります。特にワンボックスカーなどの車体の高い車は風の影響を受けやすいので、強風時にはスピードを落とすとともに、ハンドルをしっかり握りましょう。また、風に車が流されたとき、あわててハンドルを切り返したり急ブレーキを踏んで態勢を立て直そうとすると、かえって危険な事態を招きかねません。多少車が流されても急ハンドルや急ブレーキは避け、落ち着いた運転操作を心がけましょう。

◆おいしいレシピ◆ ～梅干しと塩昆布のチャーハン～

【材料】2人分

- ・豚ひき肉…100g ・梅干し…2個 ・しめじ…1パック(約100g)
- ・グリーンアスパラガス…3本 ・塩昆布…大さじ1
- ・温かいご飯…どんぶり2杯分(約400g) ・白いりごま…大さじ2
- ・しょうゆ、サラダ油、塩、こしょう、酒



【作り方】

1. 梅干しは種を除いてたたき、しょうゆ小さじ1を加えて溶きのばす。塩昆布は粗みじん切る。しめじは小房に分け、長いものは半分に切る。アスパラガスは根元を少し切り落として下3cmの皮を皮むき器でむき、斜め1cm幅に切る。
2. フライパンに油大さじ1/2を熱し、ひき肉をほぐしながら炒める。ポロポロになったら、塩、こしょう各少々を加えて混ぜる。しめじ、アスパラガス、酒大さじ1を加えてさらに炒める。アスパラガスに火が通ったらご飯を加えて木べらでほぐしながら炒める。
3. 1の梅じょうゆを加えて調味し、塩昆布、白いりごまを加えて炒め合わせる。